# 徒然草・奥山に猫またといふものありて・

**あらすじ** 次の空欄に適語を入れて、内容を整理しなさい。

| 第一段 | 第二段 |
| --- | --- |
| 人を食う〔①　　〕がいるという〔②　　〕を聞いた法師が、〔①　　〕を恐れながら、夜道を歩いていると、小川のふちで〔①　　〕が寄ってきて、飛びついた。法師は慌てて小川に落ち、助けを呼んだところ、近所の人たちがたいまつを持って駆けつけ、助け起こした。法師は〔③　　〕ようにして、家に入った。 | 実は、飼っていた〔④　　〕が、暗いのに飼い主を分かって、飛びついたということだ。 |

**重要語句** 次の語句の意味を答えなさい。

(1) ありく　［　　］

(2) やがて　［　　］

(3) このわたり　［　　］

(4) 希有なり　［　　］

**重要文法** 傍線部の助動詞の意味と活用形を答えなさい。

(1) 人を食らふなる。（三四・2）

(2) ひとりありかん身は（三四・5）

(3) 心すべきこと（三四・5）

(4) 食はんとす（三四・10）

(5) 見知れる僧なり。（三四・14〜三五・1）

(6) 抱き起こしたれば（三五・1）

(7) 水に入りぬ。（三五・2）

(8) 家に入りにけり。（三五・3）

| | 意味 | 活用形 |
| --- | --- | --- |
| (1) | | |
| (2) | | |
| (3) | | |
| (4) | | |
| (5) | | |
| (6) | | |
| (7) | | |
| (8) | | |

**内容理解** 次の各問いにそれぞれ答えなさい。

**1** 「猫また」（三四・2）の特徴を**二つ**答えなさい。

**2** 「これら」（三四・3）とは、何を指すか、答えなさい。

**3** 「ありけるを」（三四・4）はどこに続いているか、本文から抜き出しなさい。

**4** 「音に聞きし猫また」（三四・8）を現代語訳しなさい。

**5** 猫またが現れた後の法師の様子として**あてはまらないもの**を次の中から**一つ**選んで記号で答えなさい。

ア　気が動転して小川にころげ落ちた。
イ　恐ろしさのあまり腰を抜かした。
ウ　たいまつをともしている人を見つけて助けを求めた。
エ　連歌の会の賞品をぬらしてしまった。

**6** 「飼ひける犬」（三五・4）の行動がよく分かる部分はどこか。本文から**最初と最後の五字**（句読点を含む）を抜き出しなさい。

〜

**7** 次の文は、この話のおもしろさを説明したものである。空欄にあてはまる語句を補って文を完成させなさい。

A　に注意しなければならないと思っていた B　が、C　を A　と思い込んで失態を演じた滑稽さ。